

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 令和2年10月2日（金）午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 18階共用会議室（なみき14・15）
- 3 出席者 鯉渕教育長 大場委員 中村委員 森委員 木村委員 四王天委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教育委員会定例会議事日程

令和2年10月2日（金）午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

新型コロナウイルス感染症への対応について

令和2年度 横浜市教育課程研究委員会 研究協議会について

3 審議案件

教委第32号議案 鶴見区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第33号議案 南区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第34号議案 中区ほか3区内の市立小学校及び義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第35号議案 港北区及び都筑区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第36号議案 緑区ほか2区内の市立小学校及び義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第37号議案 保土ヶ谷区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第38号議案 鶴見区ほか9区内の市立中学校及び義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

教委第39号議案 保土ヶ谷区ほか7区内の市立中学校及び義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について

4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

鯉淵教育長

それでは、ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。本日もコロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクを着用しております。また、本日は、木村委員から会議への出席が遅れる旨の連絡を頂いております。

初めに、会議録の承認を行います。9月4日の会議録の署名者は、中村委員と四王天委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉淵教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、9月18日の教育委員会臨時会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小椋教育次長

【一般報告】

1 市会関係

- 9/25 決算第一・決算第二特別委員会連合審査会（総合審査）
- 9/28 決算第一特別委員会（局別審査）

教育次長の小椋です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、9月25日に、決算第一・決算第二特別委員会連合審査会（総合審査）が行われました。9月28日に、決算第一特別委員会、局別審査が行われ、教育委員会関係の議案の審査が行われました。この局別審査に、大場委員、木村委員が出席されました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 9/8～ 心の教育ふれあいコンサート

(2) 報告事項

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 令和2年度 横浜市教育課程研究委員会 研究協議会について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、9月8日から本日10月2日まで、横浜みなとみらいホールにおいて「心の教育ふれあいコンサート」が開催され、9月29日には、大場委員、中村委員、四王天委員が出席され、また、10月1日には教育長が出席されました。このコンサートの内容につきましては、この後の「新型コロナウイルス感染症への対応について」の中で所管課から報告いたします。

次に、報告事項として、この後、所管課から2点報告させていただきます。まず1点目ですが、「新型コロナウイルス感染症への対応について」、2点目は「令和2年度 横浜市教育課程研究委員会 研究協議会について」、報告させていただきます。私からの報告は以上です。

鯉淵教育長

報告が終了しましたが、何か御質問等がございますか。
特になければ、「新型コロナウイルス感染症への対応について」、所管課から御報告いたします。

直井学校教育
企画部長

おはようございます。学校教育企画部長の直井でございます。それでは、「新型コロナウイルス感染症への対応について」、御説明いたします。お手元の資料を御覧ください。

まず初めに、「1 学校の様子について」ですが、先ほどもありました、市主催行事であります「令和2年度『心の教育 ふれあいコンサート』」を実施いたしましたので、御報告いたします。

「(1) 実施日」ですが、資料のとおり第1から第3クールに分けて、9月8日から本日までの10日間で20公演を実施しています。

「(2) 会場」ですが、例年同様に横浜みなとみらいホールです。

「(3) 感染拡大防止の措置等」についてですが、まず1点目に、入場者数をホール定員の50%以下に制限しました。具体的には、1公演につき1,000人以下になるようにしました。2点目ですが、座席を一つ置きとして、使用する前後左右の座席を空席としました。3点目に、座席でもマスク着用し、入館時に消毒を行い、併せてサーマルカメラによる体温測定を実施しました。4点目に、例年とは公演時間を変更し、電車の通勤ラッシュ等を避けた設定としました。また、学校ごとに時間差をつけて入館、退館させることで、児童が密集することのないよう、そういう状況を避けるようにしています。最後に、今年度は事前に参加の意向調査を行い、希望校のみの参加といたしました。

「(4) 参加した児童・教員の感想」ですが、今年度参加した学校から提出された感想から一部抜粋したものを記載しています。「新型コロナウイルスへの不安感を感じずに、安心して鑑賞することができた」「本物のオーケストラを初めて鑑賞したが、音楽室で聞くよりも迫力があつた」「私たちのために演奏してくださっていると思うとすごくありがたいと思った」「演奏者・指揮者へのあこがれを持つ子もおり、キャリア教育として大いに役立った」「オーケストラ鑑賞のマナーを覚えることができてよかった」などの感想が寄せられています。

なお、資料にはございませんが、感染への不安から学校を欠席している児童生徒の状況は、従来と同様に各区で1校ずつ小中学校から聞き取りを実施しております。9月30日時点での聞き取りの結果ですが、36校で22名が欠席しており、1校当たり0.61名となっています。2週間前の前回聞き取りと異なる学校にも聞き取っていますけれども、比較して同数という結果でございました。

私からは以上でございます。

前田人権健康
教育部長

引き続き、人権健康教育部の前田でございます。

「2 教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況」でございます。9月30日時点ですが、前回の報告以降の児童生徒の感染者は14人です。教職員の感染者はおりませんでした。なお、令和2年6月1日の学校再開以降の教職員の感染者は11人、児童生徒の感染者は66人となっています。

続いて「3 感染者が17人となった市内小学校について」です。当該校は、9月14日月曜日から学校を再開し、児童は学習を通常どおり行い、落ち着いた学校生活を送っています。3家庭、児童4名については、コロナウイルス感染への不安の欠席が数日続きましたが、学校は学校再開に向けた取組や感染防止のための児童への指導内容などを当該児童の保護者に丁寧に説明いたしました。説明した

内容は、区福祉保健センターからの助言を基に改善を行った事項、給食時を含む教室内の机の間隔、手洗いの仕方や手洗い場の使い方など、また学校施設の消毒についてです。学校からの説明で保護者は安心し、児童の登校につながりました。その後、コロナウイルス感染への不安はなく、現在も通常の学校生活が継続されています。

報告は以上でございます。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御質問等がございますか。

四王天委員

ふれあいコンサートに初めて参加させていただいて、感想ではありますが、久しぶりに児童たちが多く集まる中でのフレッシュな感覚、それとライブの演奏をすごく楽しみにして、児童がみんな身を乗り出してコンサートに聴き入っている様子などを見て、すごくこういう取組は素晴らしいなというふうに思いました。それで、中に一つだけ印象的な場面を目撃したのですが、個別支援の必要な失笑恐怖症はご存じでしょうか。静かな場面になるとどうしても笑いが出てしまうと。葬儀の場だとか卒業式だとか、本当はみんなが静かにしなければいけない場面だけれども、どうしても行動が抑え切れなくなって笑ってしまうと。我々は2階から1階の様子を見ていたのですが、そういう生徒が一人いました。まずその生徒が参加しているということが非常にいいことだなと。一般的に無難な選択をすると、そういう症状のある人間に対してはほかの人の迷惑になるからという形で、どうしても連れていかないとか、そのようなことを考えがちですが、あえてそういう生徒も参加させているということにまず大きなステップがあることと、静かなコンサート会場ですから、どうしてもそういう症状は出てしまうのです。でも、その度に、それについている先生が一度廊下に連れていって、気を落ち着かせてまた戻ってくるという場面が3回ぐらいあって、そのようにきめ細かに一人ひとりの生徒に接している場面がうかがえたのが非常によかったなと思えました。感想です。

鯉淵教育長

ほかに何かありますか。

中村委員

説明ありがとうございました。私も感想になりますけれども、心の教育ふれあいコンサートには毎年参加させていただいて、やはり本物に触れることの良さですとか本物の力というのを毎年感じています。今年度はコロナということがあって、各学校が様々な行事を制約せざるを得ない中で、こういうコンサートができたのはとてもよかったなと思えました。感想にも、「安心して鑑賞することができた」と書いてありましたけれども、本当に携わってくださった教育委員会事務局の皆様がきめ細やかに対応してくださったということがすごくよかったなと思えました。子供たちも最初の説明のときに、「こんにちは」とか声を出さずに拍手を示してくださいねというお話がありましたら、最後までそれを守って拍手で交流するというようなこともできていました。やはりこういう行事というのは、こういうような困難な中でもやることの意味があるなということをつくづく感じた一日でした。ありがとうございました。

鯉淵教育長

ほかに。

大場委員

私も参加させていただいたので感想だけにしようと思いましたが、一つだけ質問させていただきます。と言いながらまず感想は、何回か拝見させていただい

て、横浜みなとみらいホールという、ある意味でサントリーホール並みの規模の施設を横浜市で持っていることは、横浜市の子供たちにとっても大きな財産だということを感じましたし、あれだけのところを小学校5年生で体感できる貴重な経験ができたということは、非常に大きな意義があったと思います。ちょうど帰るときも学校ごとに担任の先生が引率して駅のほうへ向かっていきました。改めて担任の先生というか学校の先生は大変だと思うのが、小学校5年生ですから一応分別は分かると思いますが、あれから学校まで戻ったのかどうか、ちょっと私は分かりませんが、行き帰りの引率の手間暇というのは結構大変なことだなと感じました。

一つだけ、横浜みなとみらいホールへの地の利の、悪いと言うと怒られてしまいますが、今回は合計で小学校だけでいうと175校なので約半分強ですかね、少しみなとみらいホールから遠いということでの負担からか、あるいは別の事情で今回選択しなかったのだらうとは思いますが、175校を区別に整理すると、やはり中心部の学校が多かったのかなと勝手に思ったりして、必須のことではないので答えがなければ別にいいですが、ちょっとそれだけ気になりました。

直井学校教育
企画部長

区ごとの集計等については、現時点ではしていません。ただ、今、大場委員からあったように、子供たちを公共交通機関に乗せるということに対する不安とか対応をどのようにするのかというような声は事前に学校から聞こえてきていたので、電車とかバスとか、そういうものに乗ることについての対応の必要さというのは、現場にとってみたら大きかったのかなと思います。様々な工夫をして時間帯をちょっとずらしたりとか、やってくれたのかなと考えています。

大場委員

帰り道の誘導を先生方がされていて、会場の中は一つずつ席を空けたりとかいろいろな工夫ができるけれども、行き帰りの公共交通機関はそうそう自由な工夫をできるわけではないと思うので、そういう意味で引率される立場の学校というか、留守を預かるほうも大変だし、実際の引率をされる先生のほうも大変な思いをして子供たちに良い経験を重ねる機会にさせていただき、本当にお疲れさまということで、以上でございます。

鯉淵教育長

ほかにございますか。

森委員

御報告ありがとうございます。年度後半に入ってきたと思いますが、年度末には卒業式、そして来年度の初めには入学式が控えていると思います。今のふれあいコンサートの話もありますが、そういった行事に向けて今何か考えている方向性などがもしありましたら教えてください。

直井学校教育
企画部長

今、授業とか様々な学校行事が進んでいるところで、森委員からありましたように、年度末の卒業式、また次の始業式、入学式というのがあるわけですが、お答えからすると、現在いろいろ検討して、状況等を見ながら検討しているところでございます。前回といたしますか、昨年度末から今年度の初めについては全国的な一斉臨時休業という中での式でしたので、今回この後の冬場がどのようになってしまうのか、そのあたりもしっかり見極めながら子供たちの安全を大事に考えていきたいと思っています。なので、現時点ではまだ横浜市でどのようにしていくかということについて決めている状況ではございません。

森委員

恐らく学校ごとに規模ですとか、先生や児童の不安の状況ですとか、もちろん

保護者の皆さんも含めてですけれども違うと思いますので、これは駄目、あれは駄目という指針を出されるというよりは、「こんな可能性もある」、「こんなこともできるよ」というような、もし何かしら年度末に向けて検討されるようでしたら、そんな発信をしていただければと思います。だんだんといろいろな事例が学校の外では積み上がってきていて、昨日も学生の方とお話しして、内定式もオンラインなんだみたいなことをおっしゃっていました。いろいろな形で参加できるような方法が今増えてきていると思いますし、いろいろな知恵を保護者の皆さんを含めて外部の方も持っていると思いますので、ぜひ柔軟に取り入れていただけたらと思います。以上です。

鯉淵教育長

ほかに何か御質問等がございますか。よろしければ、次に「令和2年度 横浜市教育課程研究委員会 研究協議会について」、所管課から御報告いたします。

直井学校教育
企画部長

引き続き、学校教育企画部長の直井でございます。それでは、今ありました「令和2年度 横浜市教育課程研究委員会の開催について」、所管課から御説明させていただきます。

関口教育課程
推進室長

教育課程推進室長の関口でございます。「令和2年度 横浜市教育課程研究委員会の開催について」、御報告申し上げます。お手元の資料を御覧ください。冒頭の文を読ませていただきます。

「本市教育委員会では、市立学校の教育課程の編成・実施・評価・改善を促進し、学習指導の充実を図るため、教育課程研究委員会総則部会及び専門部会を組織して研究を進めています。毎年、8月に研究協議会を開催し、事務局説明、各教育課程委員の実践を通じた研究成果の発信、参会者による意見交換を行っていますが、本年度は、感染症対策の視点からeラーニングによる開催をいたしました。」本年度「令和2年度は小学校、令和3年度は中学校において新学習指導要領の全面実施、令和4年度からは高等学校において年次進行での実施となります。各学校は、新学習指導要領の趣旨を踏まえて本市が策定した『横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領』を抛り所にeラーニングを活用し、児童生徒に育成を目指す資質・能力を育てています。」

「1 配信内容」についてです。eラーニングでは、全体説明と各教科等16部会からの説明を配信いたしました。全体説明で伝えた内容は主に3点です。

「(1) 令和2年度教育課程研究委員会の研究」について。ここでは、囲みにあるようなテーマで3年間研究を進めていくことを確認いたしました。研究大テーマは、「自ら学び 社会とつながり とともに未来を創る人」を育む横浜らしい教育課程の創造です。

「(2) 横浜市立学校における学習評価について」、読ませていただきます。

「学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。『児童生徒にどういった力が身についたか』という学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、児童生徒が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが大切です。本市では、児童の学びの姿である『じっくり考え 高め合い 次につなげる確かな学び』の実現に向けた授業改善と学習評価を進めていきます。」というような評価の基本的な考え方について、ここでは確認いたしました。

裏面を御覧ください。「(3) 横浜市におけるGIGAスクール構想の方向性について」、読ませていただきます。「ICT環境の整備による『学びの改革』について」、主に下の2点について進めていきます。「一人一台整備される予定

の端末を、授業における日常のツールとして使用することによる学び合いの充実を図ります。ネットワークを通じて、様々な教材や外部の人材に接する機会を増やし、学びの場を広げます。」「学校外における学びの可能性を広げ、災害時のように、学校に通うことができない状況においても、児童生徒が双方向の学びを行うことができるようにします。」というような内容をここでは発信いたしました。「各教科等からの説明」では、評価場面や評価方法の例、児童生徒の学習状況に応じた手立てなどを各教科等の特性を踏まえて示しました。

「2 各学校の様子」は、eラーニングを活用した各学校の研修の様子です。A小学校の例を御覧ください。この学校では、各自で全体説明と担当教科等を視聴した後、全体で報告会を実施したとのことです。感想としては、協議会では代表の教員が参加しますが、eラーニングでは何人でも何回でも視聴することができるなどの利点が挙げられています。一方で、他校との情報交換ができないという課題も挙げられています。右隣のB小学校を御覧ください。この学校では、重点を置いて研究に取り組んでいる国語を各自で全員が視聴し、学年ごとに評価について確認をしたようです。感想としては、評価基準を明確にして授業を行っていく大切さを学べたとのことです。その下は中学校の例です。9月半ばまでに各自が全体説明と担当教科を視聴したとのことです。感想としては、動画を参考にして職員で議論・協議をしていくことが大切であると感じたようです。eラーニングもよいのですが、協議会で具体的な実践例から学ぶことの良さも語られています。その下は特別支援学校の例です。この学校では、研修時間を設定して一斉に視聴したようです。視聴後、全教職員の感想や意見を集約して共有したとのことです。感想としては、全員で共通理解を図ることによって一歩前に進んだように思うとの声が届いています。高等学校では、本発信とは別にeラーニングの発信を行っています。

別紙を御覧ください。9月28日現在、eラーニングの視聴回数は1万1061件です。来年度の協議会につきましては、eラーニングも含めて実施の在り方を今後検討してまいります。報告は以上でございます。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御意見・御質問等がございますか。

中村委員

ありがとうございました。横浜市の研究協議会は毎年行われていて、本当に教育の質を上げることに直結している大事な協議会だと思っていますので、このような状況の中でもeラーニングとして開催できたのはよかったなと思いました。1点質問ですが、感想の中にも、指導主事の方がお話しなさったことを、例年は教育課程委員の方が授業に落とし込んだときに具体的にどういうことかという実践例があるのですが、今回はありませんでしたよね。そうすると、今後何かそういう実践例を挙げる場というのはあるのでしょうか。あるいは、皆さんにお伝えする場があるのでしょうか。

関口教育課程
推進室長

今年度末に「資質・能力育成ガイド」を策定することを予定しておりますので、その中で実践例等は示していきたいと考えております。

中村委員

ありがとうございました。私もちょっと無理をお願いして、全部は見切れなかったのですが、何本か見せていただきました。皆さんの感想にもありましたが、やはりeラーニングはいつでも何回でも見られるというのは本当にいいことだなと思いましたし、会場ですと何会場あっても人数制限がありますので、学校での報告会ではなく、自分が実際に見ることができるというのはとてもいいことだな

と思いました。また、自分の教科だけではなく全教科見ることができるというのも非常によいなと思いました。その反面、やはり生で表情を見ながらということではないので、平板で聞き流してしまうこともあるのかなというような心配もありました。先ほど実践報告については今後資料が出るということですので、またそれを参考にぜひ各学校で検討なり、あるいはまた自分たちの学校ではどのようなことができるかということを実践していただきたいと思います。本当に、教育課程研究協議会のときに皆さんが意見交換するということにすごく意味があると思うので、そこらあたりが本当に今後、来年コロナが続くのかどうか分かりませんが、何か工夫できたらいいなと思いました。休校中に指導主事の方とか教育課程委員の皆さんでたくさんすばらしい動画を作ってくださいましたよね。今回もまた研究協議会が開かれないという中でこのようにeラーニングで開催してくださったこと、本当にありがたいなと思って、感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

鯉淵教育長

ほかにございますか。

森委員

ありがとうございます。今回は先生方に向けての取組だと思いますけれども、今お話を伺っていて、これはそのまま本当に児童に向けた今後の学びのヒントもたくさん含まれていたなと思いました。一つは、先ほどおっしゃっていましたが、複数人若しくは全体で参加できるようになったということです。それは、子供たちにとっては、学校の場に行ける子が参加できていた場だったのが、これからは学校に行けない子供たちも参加できるようになるという意味でも、そういったことが今後も実現できるようになるんだなということを示している要素だと思います。あともう一つは、同じeラーニングでも複数のやり方が今回提示されたということで、バリエーションの豊かさということも示唆に富んだ話だなと思いました。一つは、それぞれ各自が見て、一同で集まるときは議論だけするというパターンです。もう一つはみんなで見て、途中止めながら議論するというパターンというように、同じ素材でも先生だったり人だったり環境によってこれだけのバリエーションで取り組めるということも、今後児童に向けて実践するときにそういったことも大いに参考になるんだなと思います。きっと大事なのはそこでの戸惑い、先生方が今回感じた戸惑いとか消化不良だった部分そのまま多分、児童にとっての戸惑いと消化不良になると思いますので、そこそそいっぱい拾えていくと良いのかなと思いました。

他校との情報交換が難しいとありましたけれども、その議論を例えば今後深めていくポイントとしては、こういった会がまたあればですが、オンラインだけでどれだけ議論をまた深められるかということと、リアルに学校にいる人たちとオンラインでいる人たち両方を併用したときに議論がどれだけ深められるかということ、その二つがさらに深められると、今後児童に向けてのいろいろな取組をするにあたって良いと思いました。答えのないことに取り組むというのが、まさに今回のテーマがそれだと思っていて、児童にとってもそういったことに学ぶことが増えると思うので、上手にオンラインとリアルが組み合わさって活用できるといいなと思います。日常のツールとしてと書いてありますので、そういったことの実現に向けて、この場一つひとつが生かされていくと良いなと思いました。ありがとうございます。

木村委員

まず、遅れて申し訳ありません。ここでの実践報告は後々出るということですよ

よね。

関口教育課程
推進室長

「資質・能力育成ガイド」ということで、実践を通してどのように資質能力を育成していったら良いかという例は示しますが、学校の実践報告ということではございません。

木村委員

分かりました。「2 各学校の様子」とかもあるのですが、僕は学校名を出したほうが良いと思います。今、文部科学省なんかでも、全国の大学等々に今期の今までの遠隔授業のグッドプラクティスがあったら出してと。グッドプラクティスなので、ぼーんと名前を出して、そこにいろいろな興味・関心を持った学校がまた問い合わせるということで、A学校、B小学校とかではなくて、しっかり明記して、グッドプラクティス的に例示とか様子とかを出したほうが多分、次につながっていくのではないかなと思っています。以上です。

鯉淵教育長

ほかにございますか。

よろしければ、次に議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第32号議案「鶴見区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第33号議案「南区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第34号議案「中区ほか3区内の市立小学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第35号議案「港北区及び都筑区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第36号議案「緑区ほか2区内の市立小学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第37号議案「保土ヶ谷区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第38号議案「鶴見区ほか9区内の市立中学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」、教委第39号議案「保土ヶ谷区ほか7区内の市立中学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」は、議会の審議案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉淵教育長

それでは、教委第32号議案から教委第39号議案は非公開といたします。審議に移る前に、事務局から報告をお願いします。

齊藤総務課長

次回の教育委員会臨時会は、10月16日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、11月6日金曜日の午前10時から開催する予定です。

鯉淵教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は、10月16日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、11月6日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知しますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴・報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

教委第32号議案「鶴見区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第33号議案「南区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第34号議案「中区ほか3区内の市立小学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第35号議案「港北区及び都筑区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第36号議案「緑区ほか2区内の市立小学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第37号議案「保土ヶ谷区ほか2区内の市立小学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第38号議案「鶴見区ほか9区内の市立中学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第39号議案「保土ヶ谷区ほか7区内の市立中学校及び市立義務教育学校用パーソナルコンピュータの取得に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

鯉渕教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前10時55分]